

〔川崎医療福祉学会ニュース〕

川崎医療福祉学会 第25回研究集会

日時 平成15年11月12日(水) 13:00～17:00

場所 川崎医療福祉大学 10階大会議室

第1部 講演 13:00～14:30

演題 「超高齢・人口減少社会の到来 ― 展望・課題・対応 ―」

講師 国立社会保障・人口問題研究所 所長 阿藤 誠 氏

(なお、講演内容全文は次号に掲載しますので了承ください。)

第2部 研究発表 15:00～17:00

1. 高齢者のおしゃれ意識と今後の福祉現場におけるおしゃれ・美容サービスの展開に関する研究

川崎医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 医療福祉学専攻 ○足立 香織

2. 有価証券報告書に見る医薬品メーカーの特徴

― 引当金計上状況調査より ―

川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉マネジメント学科 ○太田 英子

3. ゴルフのパッティング学習に効果的なフィードバック情報の呈示スケジュール

川崎医療福祉大学 医療技術学部 健康体育学科 ○田島 誠

4. 父親の家事・子育て参加と母親の子育て不安

ノートルダム清心女子大学 人間生活学部 児童学科 ○本保 恭子

川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科 八重樫牧子

学会運営委員長挨拶 大田 晋 教授

研究発表要旨

高齢者のおしゃれ意識と今後の福祉現場におけるおしゃれ・美容サービスの展開に関する研究

川崎医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 医療福祉学専攻 足立 香織

平成12年度の厚生白書および先行調査等によりわが国の要介護高齢者ならびに健康な高齢者の、おしゃれについてのニーズは既に報告されている。一方で、現在の高齢者福祉現場では、ADL 評価とそれに基づいた介護中心であり、利用者へのおしゃれの援助はボランティアに頼るかイベント的扱いが多く、模索段階であると考え、そこで本研究では、将来の福祉現場におけるおしゃれの支援のあり方、提供可能となる要因を検討する目的で、①介護福祉士養成校のおしゃれに関する教育の現状、②養成校学生の利用者のおしゃれに関する意識、③施設職員の利用者のおしゃれに関する意識、④美容サービスを実施している施設の見学調査の四つの調査を行った。

その結果、回答のあった介護福祉士養成校の1割で科目教育を実施し、8割には無いが、そのうち3割が検討中であると回答した。介護技術教員の7割がおしゃれに関する教育の必要性を感じている。ま

た、学生の6割、職員の8割が業務におしゃれの支援が含まれると考え、普段利用者からおしゃれに関する訴えがあるほどその傾向が強い。職員と学生は、施設において利用者が日常におしゃれを楽しむためには、美容ボランティアの導入、施設と介護職員の意識改革を必要とする意見が多くみられた。介護福祉士と美容師の資格を持つ専門の職員が美容サービスを実施している老人保健施設等では、施術時は長時間座位保持のためその日の体調に関する情報や皮膚の腫れ等の処置、利用者間の嫉妬、化粧を落とす問題等その実施には看護師・介護職との連携が不可欠であり、それら他職種の意識に左右されやすい現状が明らかになった。以上により、現段階においては介護職員を始めとする施設全体の意識が重要な要因の一つであると考えた。

有価証券報告書に見る医薬品メーカーの特徴

— 引当金計上状況調査より —

川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉マネジメント学科 太田 英子

医薬品メーカーの引当金の利用実態を知るため、東京証券取引所第1部上場企業のなかで、医薬品業に分類されている35社を対象に、有価証券報告書または決算短信より販売費関係の引当金と返品調整引当金の計上状況を調査した。

売上割戻引当金あるいは販売促進引当金を計上していた企業は22社(62.9%)であった。また、返品調整引当金を計上していた企業は、33社(94.3%)であった。一般企業との比較のため、日本公認会計士協会による300社の有価証券報告書の分析結果をみると、これら引当金の利用割合が高いことがわかる。

保険医療で使用する医薬品は、一般の製品とは異なり、薬価基準に収載されている価格が、最終価格として、最初に決定されているという点に特徴がある。医薬品メーカーが、ある製品の医療機関への納入価格を前もって定め、卸業者に対して、その価格以下では販売しないことを条件に卸業者と取引をするというような再販売価格維持行為は、独占禁止法において、厳しく規制されている。そのため、メーカーは仕切価格の設定後、卸業者がメーカーの

希望納入価格以下で納入せざるを得なかった場合に、卸業者にマージンを確保させる目的で、メーカーは仕切価格の修正ではなくリベートを提供するという方法を採用例がある。この場合のリベートとは売上割戻しの意味であって、売上高の控除科目として会計処理が行われる。リベートが再販売価格維持行為にはならないため、各医薬品メーカーは次期以降の売上割戻しに備え(取引完了後のリベート支払に備え)、売上割戻引当金、販売促進引当金等を計上し、合法的な形で卸業者に取引のインセンティブを与えているという現状があることを示唆しているように思われる。

また、返品調整引当金は法人税法上、出版業や医薬品業等の指定事業に対して認められている引当金であり、今回調査した医薬品メーカーにおいて、その利用割合が高いことも理解できる。

今回注目した、引当金計上状況調査の結果は、特に、リベート、値引、返品といった医薬品産業独特の取引慣行を反映した結果でもあると考える。

ゴルフのパッティング学習に効果的なフィードバック情報の呈示スケジュール

川崎医療福祉大学 医療技術学部 健康体育学科 田島 誠

運動スキル学習研究では、即時フィードバック (FB) スケジュールでの FB 依存性による保持パフォーマンスの顕著な低下を回避するために、漸減 FB や要約 FB などを提案してきた。その結果、即時 FB よりも高い保持能力を獲得できたが、習得パフォーマンスは即時 FB ほど高くなかった。そこで、本研究では習得と保持の両段階において高いパフォーマンスを期待できる「漸減要約 FB スケジュール」を新たに提案し、その学習効果について明らかにすることを目的とした。K 大学学部生 48 名 (18~22 才; 男子 22 名, 女子 26 名) を被験者とし、即時 FB 条件と要約 FB 条件、漸減 FB 条件、および漸減要約 FB 条件に 12 名ずつ振り分けた。運動課題はゴルフの 7 m パッティングを用いた。ただし、被験者の 1 m 前にスクリーンを置き、自分の打ったボールの止まった位置 (KR) が見えないようにした。本実験は習得段階 5 ブロック (1 ブロック=12

試行) と、習得段階終了 10 分後と 24 時間後に保持テスト 1 ブロックずつ設定した。正確性の指標として絶対誤差 (AE) を、安定性の指標として変動誤差 (VE) を算出した。習得段階では要約 FB 条件が他条件よりも有意に大きな AE と VE を示し、全 FB 条件で AE と VE の有意な減少が示された。24 時間後保持テストでは漸減要約 FB 条件が即時 FB 条件よりも有意に小さな AE と VE を示したことから、高い保持能力を獲得できたことが明らかとなった。以上の結果から、運動スキル学習においては、FB 依存性を高めないように KR の呈示頻度を学習段階にそって徐々に減少させることが有効であるが、学習後期においても全試行の KR を呈示することによってエラー修正機能の低下を防ぐことができると考えられる。また、学習段階にそった KR の要約量の増加は、習熟にともなう課題の困難度の変化 (困難→容易) に対して適切な変化であったと考えられる。

父親の家事・子育て参加と母親の子育て不安

ノートルダム清心女子大学 人間生活学部 児童学科 本保 恭子

川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科 八重樫牧子

本研究では、保育園・幼稚園に通う子どもをもつ父母 477 組を対象に、父親の家事・子育て参加の実態と母親の子育て不安程度の関連性を検討するためにアンケート調査を実施した。その結果、①子どもの年齢が低いほど、父親の家事・子育て参加は高くなっており、②子どもの人数が少ないほど、父親の家事・子育て参加は高くなっていった。また、③母親が常勤勤務である家庭は、父親の家事・子育て参加は高くなっていった。そして、⑤父親が家事・子育てによく参加している場合、母親の子育て不安は低かった。さらに、⑤父親の家事・子育て参加状況を問う 16 項目について因子分析を行い、第 1 因子「精神的支え因子」、第 2 因子「子育て因子」、第 3 因子「家事因子」の 3 因子を抽出し、父親の家事・子育て参加の最も大きな要素は、「妻を精神的に支えるこ

と」であることが明らかになった。

以上のことから、父親が子どもと遊んだり、買い物や掃除、おむつの交換や衣類の着替えなどを手伝ったり、食事介助やお風呂に入れるなどの協力が、夫の家事・子育て参加の大切な要素となっていることが確認された。しかし、これらの実際的な行動以上に、妻が感じている子育てについての心配ごとに耳を傾け、子育ての大変さを理解し、妻の悩みや不安を分かち合おうとする「精神的な支え」が、母親の子育て不安を解消し、心の内を楽にする最も大きな力になっていることが指摘された。

父親が積極的に家事・子育てに参加できるようにするためには、父親自身への働きかけと、父親が家事・子育てに参加することを支える社会的な基盤整備が今後の課題であるといえる。